

「大野城市立中学校における制服のあり方について（論点整理）」のポイント

大野城市立中学校制服検討委員会事務局（教育支援課）

1 制服検討委員会での合意事項

（1）制服の必要性

- ・ 学校への帰属意識を高めるためにも制服は必要であるが、一定のルールの中で生徒自身が選択できるような柔軟性も必要と考える。

（2）制服を変える必要があるか

- ・ 現在の社会情勢や気候への対応を考えると、制服を変える必要があると考える。

（3）制服を変えるなら、変えるポイントは何か

- ・ 「機能性」「経済性」「安全性」「多様性」「デザイン」等の視点ごとに要望・意見を取り入れていく。

（4）制服を「部分的に見直す」か「全面的に見直す」か

- ・ 「全面的に見直す」方向で一致。

（5）制服の価格と機能性について

- ・ 価格を抑えて機能性を高めるようにしたい。
- ・ 今あるものを長く着るという発想から、リユースの仕組みを整える必要がある。

（6）今後の議論について

- ・ 市民ワークショップでは、スーパーや近くの衣料品店で買うことが出来るものが良いとの意見があった。そのため、例えばブレザーやスラックスは制服業者から購入し、シャツやポロシャツは量販店でも購入可能という選択肢を入れられないか検討する。
- ・ 市全体の統一性と、学校の独自性について議論を深める。

2 今後の制服検討委員会での取組内容

- ・ 本「論点整理」については、各学校の学校運営協議会とも情報共有を行う。その後、第4回（10月）委員会で報告書の素案について議論し、第5回（11月）委員会で最終報告書を取りまとめる予定である。